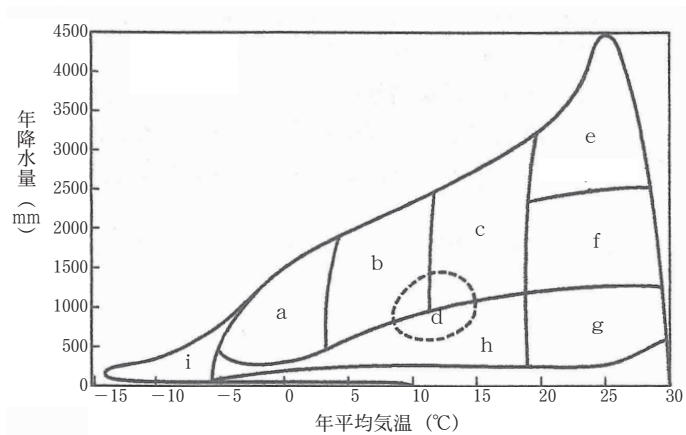


生物基礎

問題4 生態系に関する次の文章(A・B)を読み、下の問1～問8に答えなさい。

A 地球上には、さまざまな特徴のある気候が存在し、それらは地域の植生やそこに生活する動物に大きな影響を与える。その地域の植生とそこに生息する動物などを含めた生物のまとまりをバイオームという。次の図に示すように、陸上では、バイオームの種類と分布は、年平均気温と年降水量に対応している。



図

問1 図中の a～i のバイオームのうち森林でないものを、次の①～⑨からすべて選び、番号で答えなさい。

- ① a ② b ③ c ④ d ⑤ e
⑥ f ⑦ g ⑧ h ⑨ i

生物基礎

問2 次の(1)～(4)の記述に該当するバイオームは、図中の a～i のうちいずれか。最も適当なものを、下の①～⑨からそれぞれ1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) 寒さの厳しい地域に分布し、耐寒性の強い常緑針葉樹が優占している。
(2) 温帯地域に分布し、硬くて光沢のある葉を持つスダジイなどの常緑広葉樹が優占している。
(3) 温帯地域に分布し、冬季に落葉する落葉広葉樹が優占している。
(4) 雨季と乾季が明確な地域に分布し、乾季に落葉する広葉樹が優占している。
- ① a ② b ③ c ④ d ⑤ e
⑥ f ⑦ g ⑧ h ⑨ i

問3 日本の標高が低い土地には、図1中の a, b, c, e の順番で4つのバイオームが存在する。それぞれを代表する植物として適当なものを、次の①～④からそれぞれ1つずつ選び、番号で答えなさい。

- ① トドマツ, エゾマツ ② ブナ, ミズナラ ③ ソテツ, ガジュマル
④ カシ類, タブノキ

問4 標高の違いに伴う気温の変化に対応したバイオームの分布は垂直分布と呼ばれる。次の垂直分布についての文章中の(ア)～(キ)に入る適当な語句を、下の①～⑩からそれぞれ1つずつ選び、番号で答えなさい。

本州中部では、標高700 m 付近までの(ア)には(イ)樹林が、標高1700 m 付近までの(ウ)には(エ)樹林が、また、標高2500 m 付近までの(オ)には(カ)樹林やダケカンパなどの林が見られる。(オ)の上限は(キ)とよばれる。

- ① 山地帯 ② 高山帯 ③ 平地帯 ④ 亜高山帯 ⑤ 丘陵帯
⑥ 針葉 ⑦ 低木 ⑧ 照葉 ⑨ 夏緑 ⑩ 森林限界